

|        |      |     |                 |           |       |
|--------|------|-----|-----------------|-----------|-------|
| 施策番号   | 333  | 施策名 | 青少年の健全育成        | 令和4年度主管課名 | 生涯学習課 |
| 総合計画体系 | 政策名  | 3   | 創造豊かな教育・文化の里づくり | 令和4年度課長名  | 小原 克則 |
|        | 関係課名 |     |                 | シート作成者    | 日下 隆春 |

1. 施策の対象と意図の指標

| ① 施策の対象(誰、何が対象か)    |   | ③ 対象指標(対象の数・規模) |   | 単位               | 区分                        | 2年度    | 3年度    | 4年度            | 5年度    | 7年度    |
|---------------------|---|-----------------|---|------------------|---------------------------|--------|--------|----------------|--------|--------|
| ア                   | 町内の未成年者   | →               | ア | 人                | 見込値<br>実績値                |        |        | 2,100<br>1,962 | 2,100  | 2,100  |
|                     |   |                 |   |                  |                           |        |        |                |        |        |
| イ                   |   | →               | イ |                  | 見込値<br>実績値                |        |        |                |        |        |
|                     |   |                 |   |                  |                           |        |        |                |        |        |
| ウ                   |   | →               | ウ |                  | 見込値<br>実績値                |        |        |                |        |        |
|                     |   |                 |   |                  |                           |        |        |                |        |        |
| ② 施策の意図(対象をどうしたいのか) |   | ④ 成果指標(意図の達成度)  |   | 単位               | 区分                        | 2年度    | 3年度    | 4年度            | 5年度    | 7年度    |
| ア                   | 心豊かにたくましく育ってもらう   | →               | ア | 人                | 目標値                       | 3      | 2      | 1              | 1      | 0      |
|                     |   |                 |   |                  | 実績値                       | 2      | 5      | 2              |        |        |
|                     |   |                 |   |                  | 達成率                       | 150.0% | 40.0%  | 50.0%          | 50.0%  | 0.0%   |
| イ                   | 健全な育成を図る  | →               | イ | 件                | 目標値                       | 7      | 6      | 5              | 4      | 2      |
|                     |   |                 |   |                  | 実績値                       | 4      | 1      | 2              |        |        |
|                     |   |                 |   |                  | 達成率                       | 175.0% | 600.0% | 250.0%         | 200.0% | 100.0% |
| ウ                   | 青少年が健全に育っていると感じている町民の割合   | →               | ウ | %                | 目標値                       | 60.0   | 61.0   | 62.0           | 63.0   | 65.0   |
|                     |   |                 |   |                  | 実績値                       | 66.7   | 64.8   | 63.1           |        |        |
|                     |   |                 |   |                  | 達成率                       | 111.2% | 106.2% | 101.8%         | 100.2% | 97.1%  |
| エ                   |   | →               | エ |                  | 目標値<br>実績値<br>達成率         |        |        |                |        |        |
| ⑤ 成果指標設定の考え方        | 青少年が健全に育成されているかを計るための非行少年の数、不良行為の件数を指標とした。また、住民意識調査の直接の設問である項目を指標とした。 |                 |   | ⑥ 成果指標の把握方法と算定式等 | ア.イ 津山警察署資料<br>ウ. 町民アンケート |        |        |                |        |        |

2. 施策の役割分担

|                       | ① 住民の役割 (自助・共助・協働でやるべきこと)   | ② 行政の役割 (町・都道府県・国がやるべきこと)   |
|-----------------------|---|---|
| 施策成果向上に向けた住民と行政との役割分担 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の子どもを見守り、育てていく。</li> <li>・大人は、子どもの手本となるようなモラルある行動をとる。</li> <li>・事業所は、子どもが危険を感じている場合には、安全に保護する。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・各種事業への参加やボランティア活動の機会を提供していく。</li> <li>・地域や公民館などと連携し、家庭教育講座などの充実を図っていく。</li> </ul> |

3. 評価結果

| 1. 施策の成果水準とその背景・要因  |  |
|---|--|
| 4年度<br>の<br>評価結果  | ① 施策の目標達成度(目標値を達成したか、未達成か? その要因は?)   |
|   | 地域住民による小学校登下校の見守り活動が行われていたり、地域学校協働活動や家庭共育支援チームによる事業も軌道に乗りつつあり、安心安全のための活動が広がっていることから町民の意識は向上していると思われる。              |
|   | <input type="checkbox"/> 目標値を上回る<br><input checked="" type="checkbox"/> 目標値どおり<br><input type="checkbox"/> 目標値を下回る |
|   | ② 成果指標の時系列比較(成果は向上したか? 低下したか? 要因は?)  |
| コロナ禍の規制も緩和され、ほぼ予定していた事業は実施できた。検挙された非行少年数が5人から2人に減少しているが、町民アンケートにおいては、青少年が健全に育っていると感じられる割合が年々下がりつつある。コロナ禍により青少年と接する機会が減少したことによるものと推察される。   |  |
| <input type="checkbox"/> 向上した<br><input checked="" type="checkbox"/> ほとんど変わらない<br><input type="checkbox"/> 低下した   |  |
| ③ 他団体との比較(近隣市町、県・国の平均と比べて成果水準は高いのか、低いのか、その背景・要因は?)  |  |
| 県が推進している地域学校協働活動等の取組により、学校と地域とが連携し地域ぐるみで子ども達を見守り育てる活動が行われている。おかもや子ども応援事業の中で地域学校協働活動や家庭共育支援チームによる相談会等の活動を行っているが近隣市町村の取組と同程度である。  |  |
| <input type="checkbox"/> 高い水準<br><input checked="" type="checkbox"/> ほぼ同水準<br><input type="checkbox"/> 低い水準   |  |
| 2. 施策を取り巻く環境変化(対象の変化、国県の動向、法改正等)と住民からの意見・要望など   |  |
| コロナ禍の影響により、学校と地域の連携が希薄となっている。学校と連携が不可欠な事業については、丁寧に説明を行う必要がある。   |  |
| 3. 施策の振り返りと総括 (4年度の事務事業や取組の成果は? うまくいかなかった取組・問題点と原因は?)   |  |
| ① 施策の成果向上につながった主な事務事業   | おかもや子ども応援事業  |
| ② 施策の成果向上のため改善を要する主な事務事業  | かがみのっ子表彰事業   |
| ③ 施策全体の振り返りと総括  |  |
| 学校との連携が不可欠な事業も多く、効果的な利用ができれば成果を向上させることができる。地域学校協働活動として、小学校7校が取組み、地域と学校の連携がしやすい環境ができつつある。家庭共育支援チーム「ぼちぼち」を開催し相談窓口として活動している。また、中高生の居場所づくりとしての取組みを行った。成人式については、コロナによる規制で開催できなかった年代の成人を対象とした「2年越しの成人式」を開催することができた。 |  |
| 4. 施策の今後の課題と改革改善の方向(今後、新たに取り組むべきこと、さらに力をいれる必要があることは?)   |  |
| ① 今後施策の成果向上につなげる主な事務事業  | かがみのっ子表彰事業   |
| ② 施策全体の今後の課題と改革改善の方向  |  |
| 学校の統廃合や少子高齢化・過疎化等により地域だけで子どもたちを見守ることが困難になってきており、さらなる学校と地域の連携が望まれる。かがみのっ子表彰事業については、開始から約20年が経過し、開始当初と比べて社会情勢も変化しているため、推薦方法や表彰式の形態など見直しを図る必要がある。  |  |